

IoT 機器を実際に あなたの会社で 活用してみませんか？



～ 自社で IoT 機器の実証を希望する企業を 30 社募集します！ ～

概要

センサを実際に取り付け、設備の稼働状況や作業員の作業状況をデータ化及び可視化します。

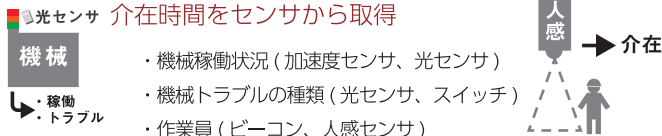
- ・IoT 機器の取り付け、取り外しはコンソーシアム側で行います。
- ・IoT 機器の使用料は **無料**！
- ・実証期間は約 1 ヶ月（事前調整等を含む）
その間に取得したデータは自社の生産性向上のために活用していただけます。

IoT 機器の活用例（ユースケース）

【例 1】

機械のトラブル「チョコ停」の理由、頻度、割合
や作業時間を把握し、効率化につなげたい。

→機械稼働時間、トラブル理由、作業員の
介入時間をセンサから取得



【例 2】

工程の一部を他工場（企業）に分けているため、
それぞれの進捗が不明でライン管理が非効率。

→各工程の進捗具合をセンサで取得しクラウド管理

各製品のコンテナにビーコンを設置し、位置状況を把握。
データをクラウドにアップロードし、データを閲覧。



利用できるセンサ類

- 【ビーコン】作業員が携行。受信電波の強弱によって作業員が設備の近くにいることを判定できる。
- 【人感センサ】設備に設置して、周囲に作業員がいる / いないを検出するセンサ。
- 【稼働状態センサ（加速度）】加速度を用いて振動を捉え、機械の稼働 / 非稼働を判定するセンサ。
- 【光センサ】ランプの点灯状態を判定するセンサ。
- 【スイッチ】作業員が押すことで、「作業の開始 / 終了」等あらかじめ決められた事項を入力できるセンサ。

第一次募集期間

平成 30 年 12 月 14 日（金）～ 26 日（水）

スケジュール

- ①参加申込書を提出
※定員に
[〆切：12 月 26 日（水）] なり次第〆切
- ②参加希望企業に対して、実施時期や
内容等についてヒアリング
- ③実施決定
- ④実証の実施
- ⑤実証終了、実績報告書の作成

【留意事項】

企業数やセンサの利用数の希望によっては、実施時期や内容について希望に沿えない場合があります。

この事業は総務省 IoT サービス創出支援事業（富山県立大学が実証している「共有型とやまものづくり IoT プラットフォーム」）と連携して実施しています。